

今回よりシリーズで、発達障害コミュニケーション上級指導者とコミュニケーション検定1級取得者の方へのインタビューを掲載いたします。ぜひ、資格取得の参考にしてみてください!

インタビュー企画



コミュニケーション検定1級取得者

大山 美和様

Q1 コミュニケーション検定講習会に参加したきっかけは何ですか

河野先生のアイ・アクセス講座の参加がきっかけです。講座のデモ体験で、その頃抱えていた昔は好きだった蝶を見ると吐き気がする症状が激減しました。そこで、河野先生の講座に入門講座から参加を決意しました。

Q2 1級資格を取得しようとした理由は、何ですか、モチベーションは何でしたか

健康問題の数々を臨床コミュニケーションで改善でき、一般人の私でも人を救えると知ったからです。医療従事者との連携や、家族・知人等に健康改善の場づくりができることが、取得のモチベーションになりました。

Q3 1級講座の内容で、いちばん印象に残っているものは何ですか

ガンやアレルギーケアです。クライアアントと医療従事者とセラピストが互いに信頼し、目標に向かって一緒の方向を向き、本人の免疫力をアップさせる秘術。これでどんなに救われた人がいるかを実感しています。

Q4 資格を日常生活や仕事にどう生かしていますか

家族や知人など調子悪そうにしている方を楽にしてあげるよう役立てています。また、仕事でも硬直化した会議や交渉などの場を穏便に収めるよう全体の良

き場づくりのために活かしています。

Q5 資格を取得したことで、日常生活や仕事をする上で、何か(どんな)変化がありましたか

それまでは人の健康などを改善できると思っていなかったのですが、自分の可能性が他分野に拡がり、自信を持てるようになりました。何よりも健康面も含めて人に施しができる良い関係性を作るきっかけになっています。

Q6 学び続けるにあたって、どのように資金・受講計画を立てていましたか、工夫したこと等ありましたら教えてください

現在の職種：ファミリービジネス経営コンサルタント
初回講座受講時の職種：経営財務コンサルタント
講座は遠隔・高額で、最初の決断は清水の舞台から飛び降りる思いでした。いざ参加すると、広がる人の輪やワーク実践の楽しさが背中を押してくれ、「興味の赴くまま」流れに乗って次への段階そして次へと受講しました。

Q7 有効期限内(5年間)に学ばれた再受講講座や他の講座で、どのような気づきがありましたか

私は同族会社のオーナー家族とビジネス発展の関係性や会社が永く続く承継には、妻や母親の役割が大切と考えファミリー

リービジネスを支援しています。ここ5年では、教育や臨床現場でも、親子(特に母と子)の関係性が、人の健康や行動として人間関係に大きな影響を持つことを更に学びました。母親や母性を持つ方々のケアの重要性を確信しました。

Q8 AMWECのコミュニケーション検定講座を学び続けていちばんよかったことは何ですか

「人の可能性は無限大」と思うようになったことです。そして、困難に遭遇した時等に、相談できる師匠や仲間ができたことです。遠くに居ても久しぶりにホームに帰って来るような安心感のコミュニティがあることです。

Q9 コミュニケーションについて、これから学びたいことは何ですか

ファミリー(家)の安泰のために、「母親(妻)の在り方とケア」や「先祖との関係性のケア」が大切だと思いを支援しています。この領域を更に学びを深めていきたいです。

Q10 1級講座を今後学んでみたい方へひとことお願いします

学びはタイミングが大切です。学びたいと思ったら自分の気持ちに正直に受講してみてください。自分のためにも、家族や知人のためにも健康と次の未来を創る自信を醸成する講座だと思います。



発達障害コミュニケーション上級指導者

石積 功樹様

Q1 発達障害コミュニケーション初級指導者講習会に参加したきっかけは何ですか

不登校や発達障害という特性のある生徒たちの心に寄り添った学習指導を進める上で、特性に応じた適切なコミュニケーションの取り方があるはずだと感じていた頃に講習会を知ったことです。

Q2 初級・中級と学ばれて、更に上級指導者資格を取得しようとした理由やモチベーションは何でしたか

発達障害のより深い専門知識や対応の仕方を学ぶだけでなく、療育における先進的な取り組みに、明るい未来を感じ深く感銘したことです。今後、個別支援計画が立てられるようになると更にサポートできる領域が広がると確信しました。

Q3 上級講座の内容でいちばん印象に残っているものは何ですか

乳幼児期も含めた児童期における支援のあり方です。個別支援計画は家族への「お手紙」であり、愛情いっぱい元気が出て、安心する、温かみのある内容を心がけることの大切さを改めて感じました。

Q4 資格を仕事にどう生かしていますか

中学生、高校生とコミュニケーションを取る時間が圧倒的に多いので、発達障害の特性がある、なにか関わらず学んできた内容や経験を踏まえて、感覚特性に合った学習指導を行うように努めています。

Q5 資格を取得したことで、仕事をする上で何か(どんな)変化がありましたか

発達障害を一つの個性、特性として捉えるようになり、より理解が深まりました。当事者やご家族の方々のお気持ちに寄り添い、特性を生かせる環境をどのように整えればよいか一緒に考えるようになりました。人に対する見つけ方捉え方が変化し、関わり方も変化してきたように感じております。

Q6 学び続けるにあたって、どのように資金・受講計画を立てていましたか、工夫したこと等ありましたら教えてください

初級受講時の職種：家庭教師業
現在の職種：同じ
資金・受講計画を立てていました。毎月積立をしていました。受講計画：ZOOM受講で移動時間や宿泊費など経済面を節約し、参加時期を早めを考えてスケジュール帳に予定を先取りで記入していました。

Q7 有効期限内(5年間)に学ばれた再受講講座や他の講座で、どのような気づきがありましたか

魂磨塾での呼吸のお話がとても興味深いものでした。呼吸について、どのようなことを意識して行えばよいかご教授いただき感謝しています。

Q8 資格を今後どんな人に取得してほしいですか

不登校の子どもと関わる全ての方々、発達障害児者に対する理解や適切なコミュニケーションの取り方を学び、深めたい方など新しい視点で人間を見つめ直し、一期一会を大切に心豊かな時間を過ごしたい人に取得してほしいです。

Q9 発達障害について、これから学びたいことは何ですか

発達障害(個性)を取り巻く社会環境、時代が時間をかけて次第に迫っていく現代において彼らが最高に輝ける、明るい未来を思い描ける家庭環境、教育環境をどのように整備していけばよいかについて学びたいです。

Q10 上級指導者講座を今後学んでみたい方へひとことお願いします

とても内容が濃く今までの学びの集大成となるもので、中級まで進まれた方には是非上級まで学んでいただきたいです。初級より上級に至るまでこれほど体系化され論理的、学術的に整理された実践的な内容は他になく、教育・福祉・医療というそれぞれの視点が融合し、実に多角的・総合的にバランスのとれた講座です。